

事業所向け 放課後等デイサービス評価表の集計結果

公表 令和3年4月30日
放課後等デイサービス 優

討議年月日 令和3年4月27日

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			活動内容によりスペース確保に努めている
	2	職員の配置数は適切である	○			なるべく多くの指導員で見守る様にはしているが配置に問題はないが手薄だと感じる時があるので今後は十分な人数を配置出来る様にしていきたい
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			現在の利用児童には必要ないが今後必要な児童が現われた場合には検討していく
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画している		○		社員間では出来ているがパートさんの出勤時間の都合で出来てない時があるが今後はスタッフ連絡ノート等と使い全員に周知出来るようにしていく
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げている		○		開所1年目の為今はしていないが今後はしていく必要がある
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している		○		開所1年目の為今はしていないが今後HPを公開する
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善に繋げている			○	コロナ禍の為第三者や外部との接触を控えている
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		○		コロナ禍の為出来ていない
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			パートさんの出勤時間の都合で中々チーム全体では難しいが社員間の中ではしっかり立案出来ている
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			日々違う活動を取り入れ固定化しないよう計画している
	13	平日・休日・長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○			個々のレベルに合わせて活動に参加出来る様になっている
	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
	16	支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行なわれた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○		LINEで情報共有し、翌日振り返りを行っている
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている		○		HUGでの記録は取っているが、検証・改善には満たしていない
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			定期的な職員会議を増やし、職員間での相談の時間を増やしていく
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	○			ガイドラインの精読を行い、精査していく

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしい者が参加している		○		役場や支援員さんとのやり取りはあるがコロナ禍の為会議には出席していない
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている		○		保護者としかやり取りが出来ない場合もあるが学校にお願い出来る所はしてもらっている
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			○	現在該当する児童がいないが今後必要があればしていく
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている			○	現在該当する児童がいない
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等への移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している			○	現在該当する児童がいないが必要であれば随時対応していく
	25	児童発達支援センターや発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている			○	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		職員の子どもや地域の子と遊ぶ機会は設けているがコロナ禍の為極力控えているがコロナが終息したらその様な機会を増やしていきたい
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している			○	コロナ禍の為参加出来ていない
保護者への説明責任等	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			送迎時や電話・LINE等で情報の共有をし共通理解を持っている
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			
	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時や面談時に説明をしている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			各家庭に寄り添った支援が出来ている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○	コロナ終息後実施予定
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			有事の場合には職員・保護者と情報の共有や相談をし、迅速に対応できるようにしていく
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○		月に1回活動内容が記載されているものを送っているがおたより等での発信はしていないがHUGでの活動の様子は定期的に行っている
	35	個人情報に十分注意している	○			個人情報が載っているものは全て鍵付の書庫で管理し、SNSやHUGでの写真の掲載等は保護者の許可を得ている
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			LINE等を通じこまめな連絡を取り、情報の共有・相談をしている
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を行っている			○	コロナの為出来ていないがコロナ終息後はそのような機会を設けたいと思っている
非常時等の対応	38	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している			○	今後しっかりしていく必要がある
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			毎月1回は活動内容に取り入れている
	40	虐待を防止するため職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		○		コロナにより現状は出来ていないが今後していく必要がある
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			こまめに職員間で話し合っているがマニュアル作成し、しっかりと全員周知していく必要がある
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされている		○		HUGに当日利用の児童のアレルギーの有無が表示されているが一覧表を作成し周知していく
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○		ヒヤリハットは記入しているが職員全員に周知出来ているか明確ではないので今後改善出来る様に努めていく